

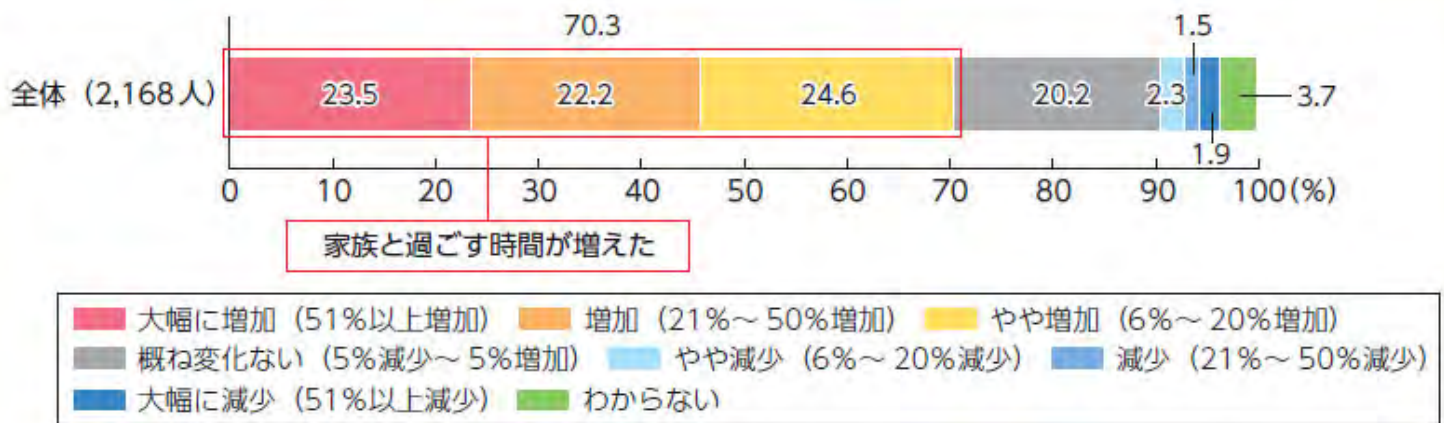
【6. 新型コロナウイルス感染症の感染拡大と食育】

令和2（2020）年5月から6月に内閣府が実施した「新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」では、家族と過ごす時間が増えたと回答した人が、全体の70.3%（図51）。さらに、新型コロナウイルス感染症の影響下において、16.0%が「本格的な趣味（芸術、料理等）に新たに挑戦した」と回答しており、新たに料理作りに取り組む人も見受けられる（図52）。

また、緊急事態宣言（令和2（2020）年4～5月）下で実施されていたテレワークの取組が令和2（2020）年12月の段階でもある程度維持されていたことが示されているが、東京都23区と地方圏ではテレワーク実施率に大きな差がある（図53）。

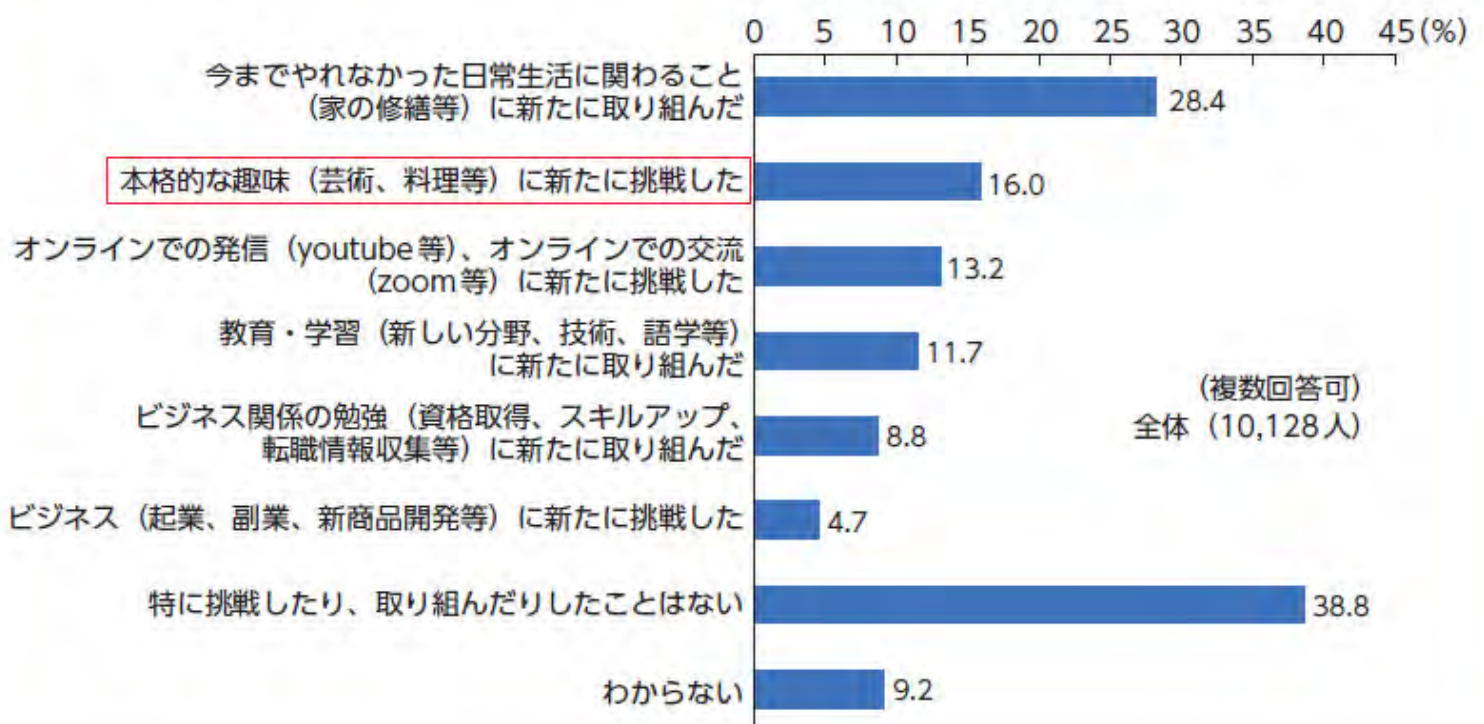
「あなたご自身の現在の食生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大前に比べて変わりましたか。」という質問に対し、自宅で料理を作る回数と自宅で食事を食べる回数が「増えた」と回答した人の割合はそれぞれ26.5%、35.5%となっている（図54）。ただし、自宅で食事を食べる回数について、都市規模別では、「増えた」と回答した人が東京都区部では約5割であった一方、小都市、町村では約3割で、「変わらない」が6割以上となっている（図55）。

図51 家族と過ごす時間の変化（18歳未満の子供がいる世帯）



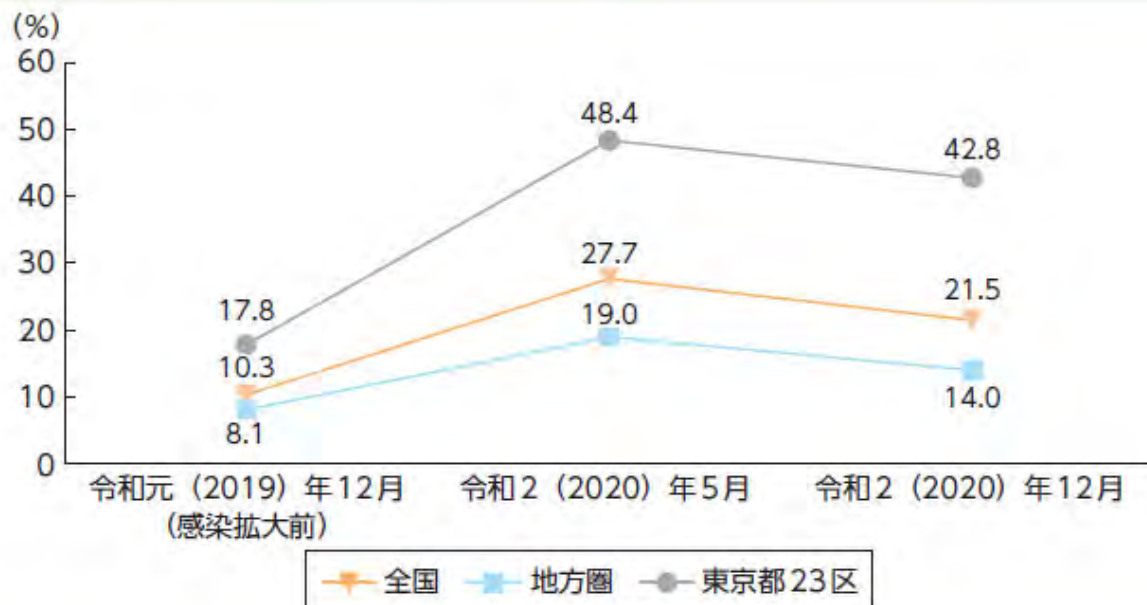
資料：内閣府「新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」（令和2（2020）年5～6月実施）
出典：農林水産省「令和2年度食育白書」

図52 新たに挑戦したり、取り組んだりしたこと



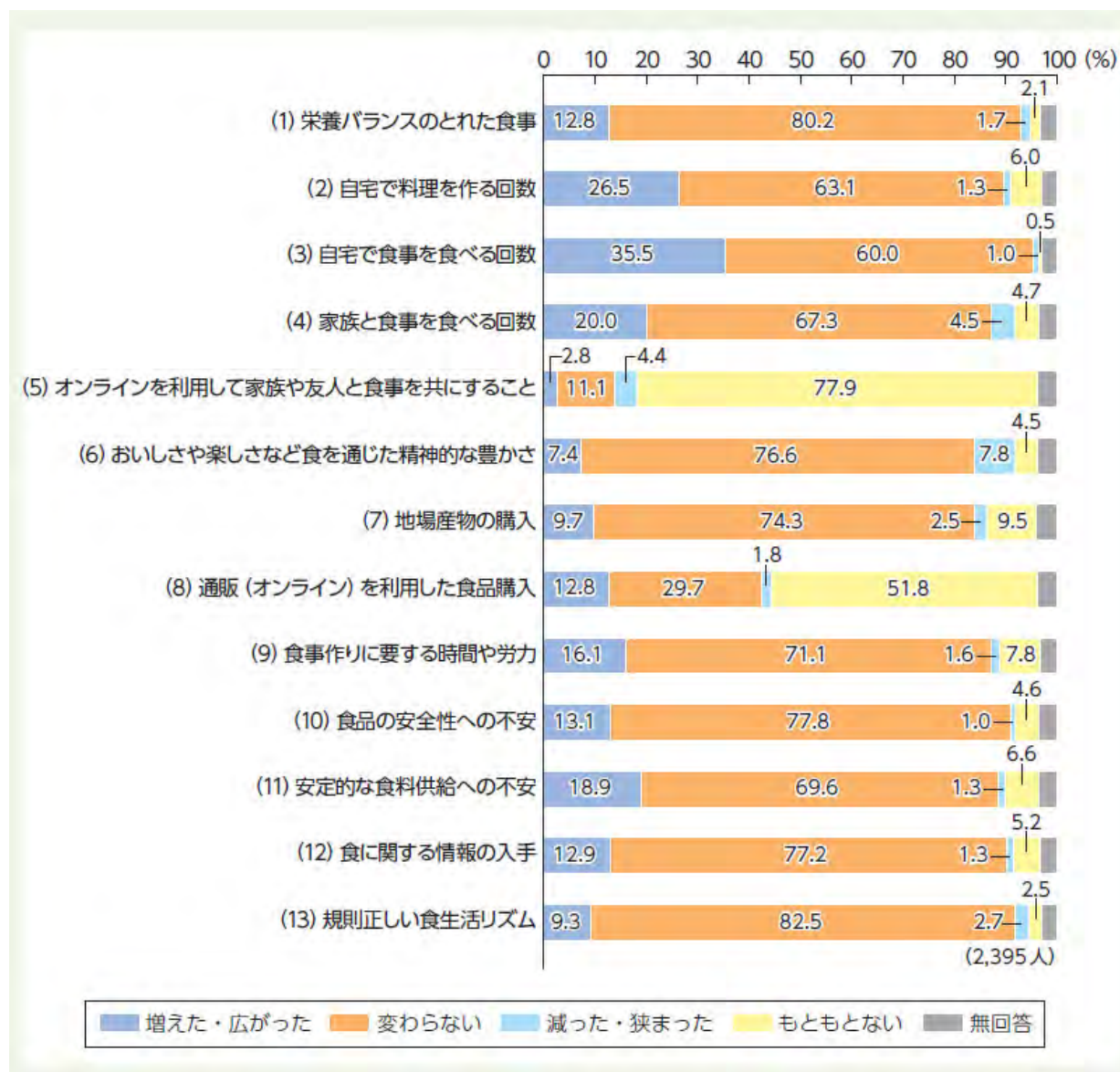
資料：内閣府「新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」（令和2（2020）年5～6月実施）
出典：農林水産省「令和2年度食育白書」

図53 地域別のテレワーク実施率（就業者）



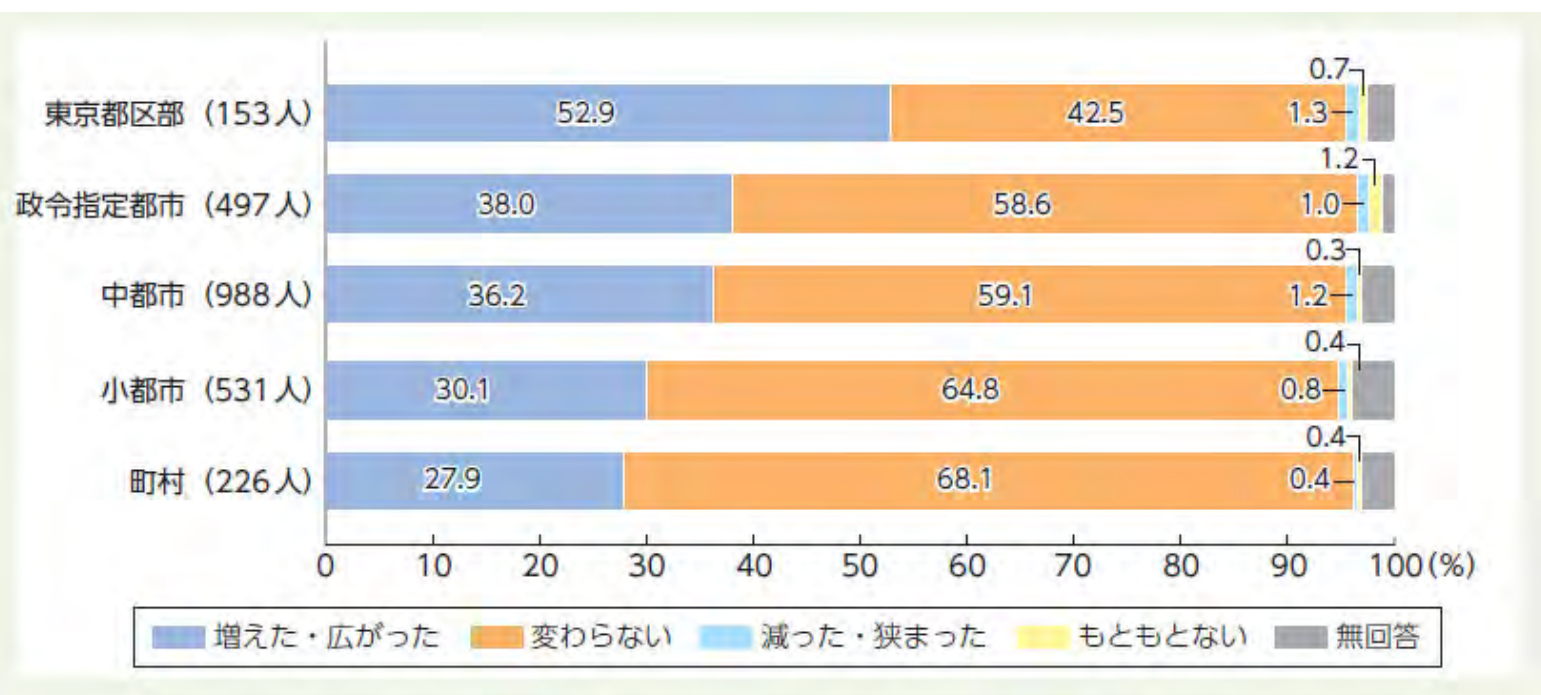
資料：内閣府「第2回新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」（令和2（2020）年12月実施）
出典：農林水産省「令和2年度食育白書」

図54 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う食生活の変化



資料：農林水産省「食育に関する意識調査」（令和2（2020）年12月実施）
出典：農林水産省「令和2年度食育白書」

図55 自宅で食事を食べる回数の変化（都市規模別）



資料：農林水産省「食育に関する意識調査」（令和2（2020）年12月実施）
 出典：農林水産省「令和2年度食育白書」